

みんなで一緒に

名古屋市総合計画2023 ガイドブック

NAGOYA

をつくろう!



林修さん巻頭インタビュー

世界に冠たる
「NAGOYA」へ!



CONTENTS

巻頭インタビュー「林修」

総合計画とは

1 名古屋の今、そして未来

名古屋の強み

名古屋を取り巻く社会の動き

まちづくりの方針

めざすまちの姿―5つの都市像―

総合計画ができるまで

2 都市像の実現に向けて

都市像 1

都市像 2

都市像 3

都市像 4

都市像 5

市民サービスの推進

名古屋のまちが飛躍するチャンス!!

SDGs(エスディーズ)

3 重点戦略

戦略 1

戦略 2

戦略 3

戦略 4

私の好きな名古屋

3

5

6

7

8

9

11

13

14

15

17

19

21

23

25

27

29

30

31

33

35

37

39



新しい時代の 名古屋市総合計画 2023

令和という新しい時代を名古屋市はどのように歩み
どのような都市になっていくのか。

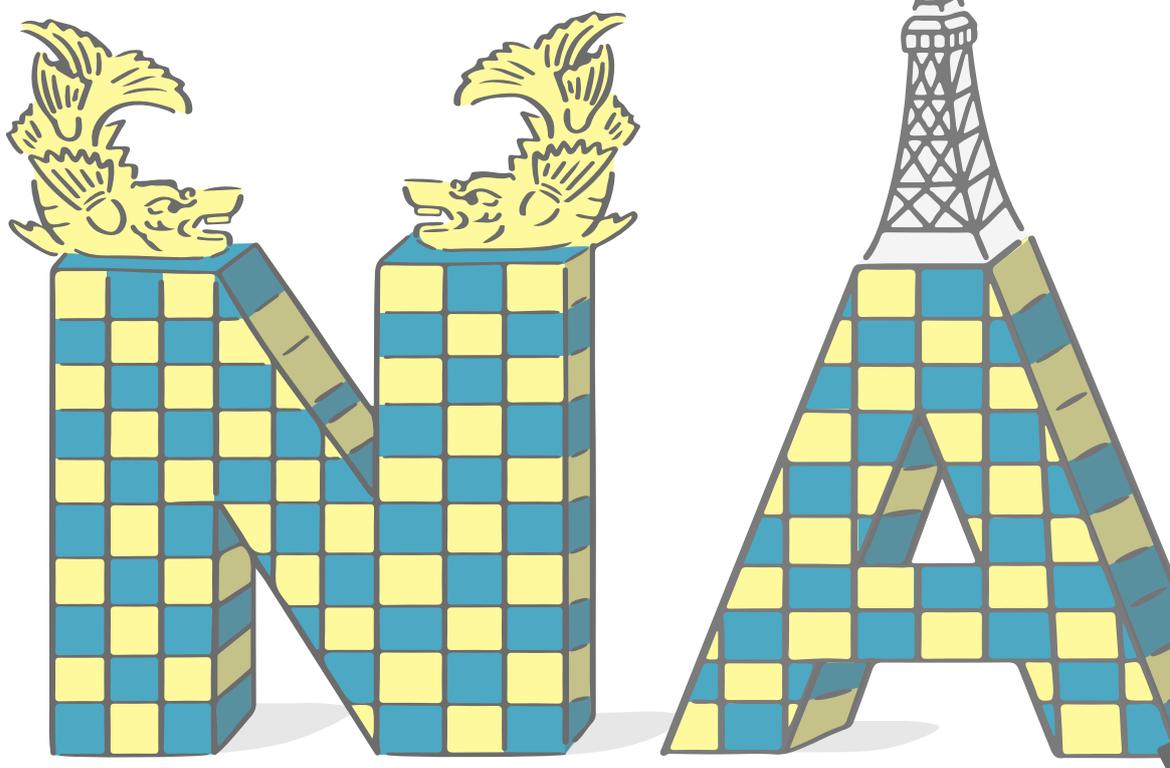
このガイドブックは、

名古屋市総合計画2023をすべての人と共有し、

ともに名古屋の未来をつくっていききたい―

そんな思いを込めてつくりました。

みんなで一緒に「NAGOYA」をつくろう！



林

たくさん本の本に囲まれて
過ごした少年時代

——名古屋での思い出を教えてください。

大学進学で東京へ出た後、30代の時に名古屋へ戻ってきました。現在は、名古屋と東京を往復する日々を送っています。

子どもの頃の思い出といえば、図書館に通い詰っていたことですね。東図書館と名東図書館をハシゴして、歴史関係や文学など、相当な量の本を借りて読んでいました。同じ本を借りて、返して、また借りて(笑)。それと、走ることが好きで、瑞穂公園や吹上公園、鶴舞公園などを1日10〜15kmくらい走っていましたね。先日、久しぶり

巻頭 Interview

はやし
おさむ

修

Profile

名古屋市出身、在住。東京大学法学部卒業。東進ハイスクール 東進衛星予備校 現代文講師。東進ハイスクールのCMで放送されたセリフ「いつやるか？今でしょ！」が大流行し、「今でしょ！」が2013 ユーキャン新語・流行語年間大賞を受賞。中京テレビ デジタル 4 名古屋市政情報番組「ナゴヤでしょ!!」出演中。



に名城公園を走ったんですが、本当に良いコースで、走っている市民ランナーのレベルも高いーどんどん追い抜かれて悔しかったですね(笑)

それから、通学していた東海高等学校周辺のことをよく覚えていきます。時が止まったような、昔ながらの商店街があつて。名古屋のまちは、古いものと新しいものが融合して、心地良さを感じます。

モノからコトへ そして世界へ

——これからの名古屋に期待することは何ですか？

名古屋は、自動車産業をはじめ、繊維、陶磁器、航空機など、多くの産業が集積する日本のものづくりの中核を担っています。これ

はまぎれもなく名古屋の強みですね。その産業を支えているのが名古屋港ではないでしょうか。貨物量や出荷額、自動車の輸出台数がともに日本一というのは本当にすごい！もっと自慢しても良いと思いますよ。また、名古屋港だけに留まらず、セントレア(中部国際空港)へのアクセスが全国的に見て良いことがあまり認識されていないのではないのでしょうか。どちらも物流

基盤にとって重要ですし、名古屋の高い生産性や利便性に結びついていると思います。名古屋の人は、名古屋の良いところをもっと知ってほしいと思いますね。

また、名古屋やその周辺にはたくさん大学のあつて、ノーベル賞受賞者も多く輩出するなど、世界をリードする研究も盛んに行われています。そこに

国内外から優秀な学生を呼び込み、この地域のものづくり産業と結びつけることができれば、将来に向けて大きな強みになると思います。

Interview / Osamu Hayashi

知恵を活かし、 世界と直接つながる 名古屋へ。

これから先、大きなポイントになってくるのが、やはり「リニア中央新幹線」の開業でしょう。名古屋から東京まで40分という時代が訪れようとしています。大阪までつながれば、東京・名古屋・大阪の三大都市圏で、観光や産業、地域間の連携など、幅広い分野で新たな価値が生まれてくると思います。ただ、注意しないといけないのが、東京・大阪間の移動時間が短縮されることで、それぞれに人口や経済活動が吸い取られること。いわゆる「ストロー現象」ですね。「名古屋へ行くんだつたら東京へ行こうか、大阪へ行こうか」と、便利になったがゆえに名古屋が通過されてしまう。リニアが「もろ

刃の剣」になってしまわないように、危機感を持って、プラス面とマイナス面をしっかりと自覚することが大切だと思います。メリットが大きければ大きいほど浮かれずに、その裏面のデメリットは何かを考えるシビアな精神が必要な時代だと思っています。

これからは「モノの消費」より「コトの消費」の時代といわれています。産業技術や大都市としての優位性を築き上げてきた知恵を活かして、たくさん魅力的なコトを世界へ広げていく。名古屋じゃなければ体験、経験できないコトをもっと充実させて、世界と直接つながっていく。そんな名古屋であってほしいですね。



総合計画とは

市政運営における 最上位の計画です。

名古屋市基本構想

市政運営の指導理念

総合計画は、市政を総合的かつ計画的に運営していくために、長期的な展望に立って名古屋市がめざす都市像を描き、それを実現するために何をすべきかをまとめたものです。

名古屋市総合計画2023では、第20回アジア競技大会の開催、リニア中央新幹線(品川-名古屋間)の開業後となる令和12(2030)年頃を見据えた将来のまちの姿を描きながら、令和元(2019)年度から令和5(2023)年度までの5年間で取り組む施策と事業をまとめています。

名古屋市総合計画 2023

まちづくりの方針

めざす都市像

将来の都市構造

重点戦略

市政運営の取り組み

45施策530事業

長期的展望に立った まちづくり

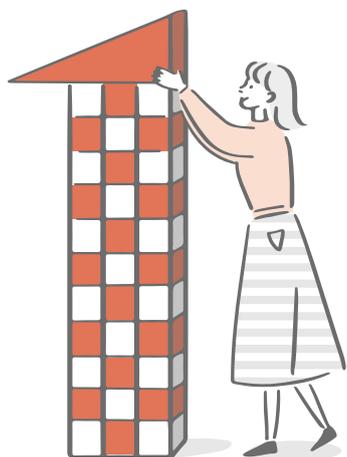
令和12(2030)年頃を見据えた「まちづくりの方針」と、5つの「めざす都市像」、「将来の都市構造」、4つの「重点戦略」、「市政運営の取り組み」をまとめています。

めざす都市像の実現に 向けた施策・事業

「長期的展望に立ったまちづくり」に示した5つの都市像を実現するため、45の施策と、施策に基づく530の事業に取り組んでいきます。

名古屋の今、 そして未来

名古屋が今置かれている
状況を整理し、
未来に向けたまちづくりの方向性と
めざす将来のまちの姿を
まとめました。





名古屋の強み

便利で快適、 住みやすい

大都市として高度な都市基盤と機能を有するとともに、広い道路や公園が確保され、ゆとりある生活空間を備えています。また、充実した医療サービスや公共交通機関など、生活における便利さと快適さを感じることができる、住みやすいまちです。



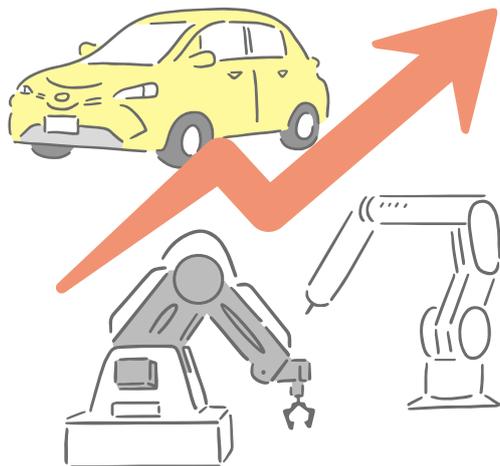
日本の真ん中、 交流の中心

日本のほぼ中央に位置し、新幹線をはじめとする鉄道や高速道路、空港、港などを擁し、広域的な交通・流通ネットワークの中心となっています。また、リニア中央新幹線の開業により、本市の拠点性は、さらに向上することが期待されます。



強い経済力

この地域は、自動車や航空機をはじめ、ロボット、工作機械などの分野において世界レベルの産業技術が集積しています。また、大都市ならではの商業・サービス業の厚い集積があり、強い経済力に裏付けられた安定的な雇用があります。





名古屋を取り巻く社会の動き

少子化・高齢化に伴う人口構造の変化

死亡数の増加と出生数の減少により、令和5(2023)年頃から人口減少に転じると推計されています。今後は、社会の支え手である働く世代が減少し、高齢者の増加が見込まれます。

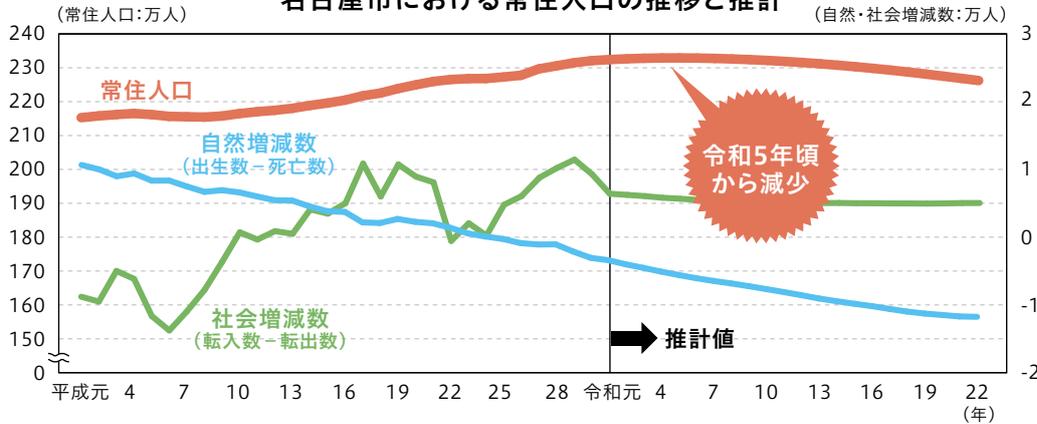


価値観・ライフスタイルの多様化

価値観やライフスタイルが多様化し、単身世帯の増加など、家族や世帯のあり方や、人とのつながりが変化しています。また、近年、外国人住民が大幅に増加しています。

名古屋の今、そして未来

名古屋市における常住人口の推移と推計



出典: 実績値 統計なごやweb版 愛知県人口動向調査結果(名古屋市分)より作成
推計値 名古屋市推計(平成30年10月1日時点)

自然災害に対する懸念

南海トラフ巨大地震の発生確率が、今後30年間で70〜80%と切迫度を増しています。

また、近年、豪雨の発生回数が増加しています。

交流人口の増加

国内外から本市を訪れる観光客数が増加傾向にあります。特に、グローバル化の進展により、外国人宿泊客数が大幅に増加しています。

産業を取り巻く環境の変化

IoT、AI、ロボット、自動運転などの技術革新の進展により、産業を取り巻く環境が急速に変化しています。

また、少子化の進行により、労働力不足が懸念されます。

まちづくりの 方針

令和12(2030)年頃を見据えて
どのようにまちづくりを進めていくのか。
その大きな方向性を、
「まちづくりの方針」として
まとめました。

大規模災害から
命と産業を守り、
日々の暮らしの
安心・安全を確保する

ヒト・モノ・カネ・
情報呼び込み、
新たな価値を創造し
持続的な経済成長をめざす

名古屋大都市圏における
ハブ機能を果たし
成長をけん引する

い豊かな未来を創る！

「NAGOYA」へ

名古屋の強みを
最大限に引き出す



日本で1番子どもを応援！
高齢者も安心できる
みんなにやさしい
福祉の実現

アジア諸国との
交流を活発に行い、
アジア・世界の
交流拠点都市へ



魅力と
郷土愛にあふれる
世界の
デスティネーションへ

リニア時代の
リーダー都市へ

新しい時代にふさわし

世界に冠たる



名古屋城天守閣の
木造復元により、
特別史跡名古屋城跡を
世界に誇れる
日本一の近世城郭へ

SDGs未来都市として、
持続可能な未来を
切りひらく

めざすまちの姿

5つの都市像

「まちづくりの方針」に基づき、
名古屋市がめざす
将来のまちの姿を
5つの都市像としてまとめました。

災害に強く
安心・安全！

高齢者も障害者も
みんなが元気！

子どもや若者の
あふれる笑顔！

都市像

3

人が支え合い、
災害に強く安心・安全に
暮らせるまち

- 地震や豪雨などの災害に強いまち
- 火災や犯罪、交通事故が起これにくいまち
- 安心・安全な市民生活が守られているまち

都市像

2

安心して子育てができ、
子どもや若者が
豊かに育つまち

- 安心して子どもを産み育てることができるまち
- 子どもが健やかに成長できる、笑顔あふれるまち
- 若者が明るい未来を切りひらき、いきいきと活躍できるまち

都市像

1

人権が尊重され、
誰もがいきいきと暮らし、
活躍できるまち

- 人権が尊重され、誰もが生きがいを持って生活できるまち
- 高齢者や障害者をはじめ誰もが不安なく、自立して生活できるまち
- 多様な人々が自分らしく活躍できるまち



世界に冠たる
NAGOYAへ!

環境にやさしく
快適・便利!

都市像

5

魅力と活力にあふれ、
世界から人や企業を
ひきつける、開かれたまち

- 高いブランド力を有し、市民が誇りに思えるまち
- 世界から人や企業をひきつける、開かれたまち
- 地域の産業が活性化し、高い産業競争力を有するまち

都市像

4

快適な都市環境と
自然が
調和したまち

- 快適な都市環境の中で暮らせるまち
- 自然が身近に感じられる潤いのあるまち
- 環境にやさしい低炭素で循環型のまち

総合計画ができるまで

名古屋市総合計画2023は、市民の皆さんとの協働により策定しました。

平成29年度 7～8月 ▶ 市民2万人アンケート

11月 ▶ 通勤・通学者アンケート

1月 ▶ 外国人市民からの意見聴取

2月 ▶ 子どもたちからの意見聴取 **1**

2月 ▶ 女性の活躍推進企業社員からの意見聴取

3月 ▶ 若者(学生)からの意見聴取

3月 ▶ 政令指定都市等居住者アンケート



平成30年度 8月 ▶ 中間案の公表

8～12月 ▶ 中間案に対する市民意見の募集

9～10月 ▶ 子育て世代からの意見聴取 **2**

10～11月 ▶ 若者からの意見聴取
「U39フューチャーセッション@758」 **3**

10～12月 ▶ タウンミーティング **4**

11～12月 ▶ 大規模意見集約システム
「HAMAgree(ハマグリー)」による
インターネット大討論会
(名古屋工業大学との連携による社会実験)

12月 ▶ 外国人市民からの意見聴取

1月 ▶ 名古屋市次期総合計画づくり
市民ワークショップ **5**



令和元年度 7月 ▶ 名古屋市総合計画2023(案)の公表

7月 ▶ パブリックコメント

9月 ▶ 名古屋市会9月定例会において
「名古屋市総合計画2023の策定について」を議決(修正可決)

10月 ▶ 名古屋市総合計画2023の公表



都市像の 実現に向けて

5つの都市像の実現と

市民サービスの推進に向けて、
45の施策に取り組みます。

市民と行政の協働を原動力に
ともに未来へ――

各都市像等に関わる

さまざまな分野で活躍する

まちの皆さんの取り組みを紹介します。



人権が尊重され、
誰もがいきいきと暮らし、
活躍できるまち

社会で役割を担う
老人クラブの活動こそが
健康長寿の秘けつ

公益社団法人
名古屋市
老人クラブ連合会
会長
三溝 芳隆さん

かけがえのない生きがい

——名古屋市老人クラブ連合会に
ついて教えてください。

人生100年時代といわれるようになりましたが、いつまで健康でいられるか、長く生きたとしても、やがて寝たきりになり、認知症になったりする、そうした不安は常につきまといまいます。そんな状況を想像するのはとてもつらく、高齢者にとって、やはり健康は切実な願いです。元気な身体で、ボランティア活動などを通して社会に貢献し、生きがいある暮らしを送る。そんな社会の実現に向けて活動しているのが老人クラブ連合会で、全国的なネットワークを持つ高齢者組織となっています。

名古屋市老人クラブ連合会は、1281クラブ、会員数は5万6



千人を超えています(令和2(2020)年1月時点)。「のぼろー!健康寿命担おう!地域づくりを」をテーマに掲げ、健康づくり、生きがいづくり、地域づくりを活動の目的としています。老人クラブは、徒歩で集まれること、無理なく頻繁に活動できることが大切で、顔なじみのご近所さんが集まっています。たくさん仲間と一緒に、ウォーキングや体操、グラウンドゴルフを行ったり、公園の美化活動などに取り組むのは楽しいですし、時には旅行をすることもあるんですよ。また、経験豊かで地域のことにも精通している高齢者は、地域活動に貢献できます。これは高齢者にとってもかけがえのない生きがいとなります。高齢者がいきいきとしているまちは活気がありますよね。

地域とともにある 老人クラブの役割

— 今後、力を入れて取り組んでいきたいことや目標は? —

高齢になると今までできていた

ことができなくなつて、生活に不便を感じるようになります。そんな時こそ私たちの出番です。地域の実情や同世代の気持ちがかかりますからね。「みんな楽しくやろう」という声かけやお互いを思いやる心が大切です。

老人クラブの利点は、住み慣れた地域に根ざし、仲間づくりで

団結し、地域のさまざまな困りごととも解決していくところ。点ではなく線でつながっていくことが、老人クラブの良さだと思います。このことを、これからもアピールしていきたいと考えています。名古屋市老人クラブ連合会では、より親しみやすく、活動や魅力を知ってもらうため「なごやかクラブ名古屋」の愛称で活動しています。会員はもとより、会員以外の人の意見も聞き入れながら、「名古屋の老人クラブはちよつと違うぞ」と、全国から注目されるような老人クラブをこれからもめざしていきます。



北生涯学習センター体育館での体力測定



みんなでポッチャ!

ポッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤と青それぞれ6球のボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当たったりして、いかに近づけるかを競うスポーツで、パラリンピックの正式種目となっています。障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで誰でも楽しむことができるポッチャですが、トップアスリートともなると、緻密な戦略や針の穴を通すような投球で、観る者を魅了します。



写真提供:一般社団法人日本ポッチャ協会

めざす都市像の実現に向けて取り組む施策

1. 人権が尊重され差別や偏見がない社会をつくります
2. 男女平等参画を総合的に進めます
3. 生涯にわたる心身両面の健康づくりを支援します
4. 適切な医療を受けられる体制を整えます
5. 高齢者が生きがいを持って暮らせるよう支援します
6. 高齢者が地域で安心して暮らせるよう支援します
7. 安心して介護を受けられるよう支援します
8. 障害者が自立して安心して暮らせるよう支援します
9. 誰もが意欲を持って働けるよう就労支援を進めます
10. 生涯にわたる学びやスポーツを通した生きがいづくりを支援します



主な成果指標	直近の現状値	目標値 令和5年度	目標値 令和12年度
基本的な人権が尊重されている社会だと思う市民の割合	69.5% (平成30年度)	72%	75%
困った時に相談できる人が隣近所や地域にいる高齢者の割合	63.7% (平成30年度)	70%	75%

安心して子育てができ、
子どもや若者が豊かに育つまち

子ども一人ひとりが
権利の主体

——子どもNPOについて教えてください。

子どもNPOは、「子どもの権利条約(平成元(1989)年11月に国連総会で採択)」に定められている子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利を基盤として、子どもが社会参画する場や機会をつくり、子どもとおとながともに持続可能な社会をつくるために、乳幼児期から青年期を対象とした多様な事業を展開しています。遊、学、食そして居る場それぞれで子どもたちが「やってみたい」と思う活動を通して、現在の現在と未来のことを考え、行動していける社会をめざしています。子どもの貧困が社会問題となっている昨今、子どもとおとなはパートナー

として、子ども自身の力が発揮できるように一緒に考えたり、寄り添う団体として活動してきました。
私が日々従事している「名古屋

市子ども・子育て支援センター(758キッズステーション)には、主に0歳から2歳の乳幼児とその保護者が多く来られます。

子どもとおとなはパートナー
今と未来をともに歩む
関係づくりにより寄り添っていく

特定非営利活動法人
子どもNPO 理事
小野 智子さん



子育てコンシェルジュが常駐する「758キッズステーション」



そこで、普段から講座などを通じて伝えさせていたでいるのが「赤ちゃんにも人権がある」ということ。「子どもの権利条約」や「なごや子ども条例」にもあるように、子育て支援は、子どもを育てやすくするだけではなく、子ども自身が育ちやすくなることが大切です。ただ、乳幼児期の子どもは、権利の主体といえながら、特別な保護が必要なんです。赤ちゃんは、明確な言葉による表現ではなく、泣いたり、笑ったりすることで自分の気持ちや感情を伝えます。これが意見表明であり、参加につながる

もの。寄り添う人は子どもの発達についての知識を持ち、子どもが伝えたいことや子どもの気持ちを理解する力が必要になります。

未来を一緒につくる権利

——今後、力を入れて取り組んでいきたいことや目標は？

乳幼児期は、一生の土台が作られる大事な時期です。その時期に一番子どもと関わる保護者などへの支援が大切だと考え、その理解を深められるよう取り組んでいきます。社会では、少子化が進む中、子育て支援として拠点等の整備が進み、既存の「集いの場」に来る人や、利用する人が減り、拡散しているように思われます。昔ながら、子育て家庭同士の行き来が多くありましたが、今は「子どもが相手の家の中を汚してしまったらどうしよう」というような心配や不安を持つ傾向があるようです。困ったことがあればインターネットですぐに調べられる時代ですが、自分としての判断軸を持ち、情報に

振り回されない力が必要になっていきます。一人で抱え込み、きつい思いをし続けることのないよう、保護者同士で話し合える機会や場づくりがこれからも必要です。一刻と社会状況が変わる時代、安心・安全に子育てできるように、情報に振り回されず、判断する力と知恵を提供できる私たちでありたいと考えています。

それから、子どもも、おともも、未来を一緒につくる権利があります。みんなが主体的な存在です。そんな関係を子どもとおとなのパートナーシップで築いていきたいですね。



世界への扉

グローバル社会において活躍できる人材を育成するために、学校で学んだことを実際に試してみる体験等の機会を創出する場として、令和元(2019)年7月、名古屋市教育館内に「グローバル・エデュケーション・センター」が開設されました。海外の大学講師を招いて実施する講座や、ネイティブスピーカーとの交流活動を含むイングリッシュキャンプ等、名古屋の子ども達がグローバルな社会を体感できる新しい施設です。



海外の大学の教授による講座の様子

めざす都市像の実現に向けて取り組む施策

11. 安心して子どもを産み育てられる環境をつくります
12. 子どもが健やかに育つよう、子ども・家庭を支援します
13. 虐待やいじめ、不登校から子どもを救います
14. 子どもの個性を大切に、幅広い学力と豊かな心、健やかな体を育みます
15. 若い世代が学び育ち、活躍できるまちをつくります



主な成果指標	直近の現状値	目標値 令和5年度	目標値 令和12年度
子育てしやすいまちだと思う市民の割合	79.8% (平成30年度)	83%	86%
自分のことを好きと答えられる子どもの割合	81.0% (平成30年度)	83%	86%

人が支え合い、
災害に強く安心・安全に
暮らせるまち

つながりを守る
地域防災の要

——消防団の活動について教えてください。

前田さん…小坂消防団(緑区)は、平成18(2006)年4月に、20人の団員でスタートしました。現在は、男性が19人、女性が団長の私1人です。定期的な活動としては、月2回の定例会や訓練、火災予防のため学区内を回る広報があります。若園さん…名古屋市大学生消防団は、現在8分団で構成されています。私が所属している南山大学分団は、地域の防災力向上と、広報活動を目的に活動しています。学区の防災訓練やお祭りに参加して、地域の人と関わりながら消火器の操作方法の指導や、子どもたちを対象とした防災クイズなどを実施しています。

前田さん…私はPTA役員のおかげから入団したのですが、今なお、人とのつながりが大切だと感じています。団長になってからは、近隣消防団との関係も大切にして、合同訓練や親睦を目的とした行事を開催してきました。そのようにつながりから生まれるのが、いざという時の助け合いなんです。火災の現場では、学区だけでは対応しきれないこともありまます。そんな時は、近隣消防団の応援がとても頼もしいんです。広い範囲でつながりを持つておくことが大切だと思いますね。

若園さん…私は地域の皆さんから感謝の言葉をいただけることが一番のやりがいです。「次もがんばろう」と自分を奮い立たせてくれまますし、地域の役に立っているとと思うと、自分の自信にもつながります。異なる世代の人とコミュニ



日々のつながりを大切に
防災をもっと身近に
感じられる
消防団でありたい

(左)名古屋市
小坂消防団 団長
前田 美智子さん

(右)名古屋市大学生消防団
南山大学分団
若園 拓海さん



緑区消防団連合観閲式の一斉放水



ケースションが取れるのも、消防団の魅力だと思います。

地域に親しまれる ONE TEAM

— 今後、力を入れて取り組んでいきたいことや目標は？

前田さん…今後の目標の一つが「知識や経験の共有」です。消防団にはさまざまな職種の人が入っていて、それぞれ得意分野が異なります。団員一人ひとりの得意なことを活かして、知識や経験を共有すれば、

一人ではできなかったことができるようになると思います。

若園さん…私の目標は、消防団で得た知識や技能を社会人になってもさまざまな場面で活かしていくこと。家庭や職場を問わず、防災・防火上で危険な箇所はないか見極め、行動できるようにしたいです。あと、家族や友人、同僚などに防災の大切さを伝え、防災の輪を広げていきたいと考えています。

前田さん…地域の消防や防災活動を通して、私が名古屋の未来に期待するのは、火事や事故がなく、みんなが住みやすいまちであってほしいということ。そのためにも、もっと地域に親しまれる消防団になって、ふるさとを守っていきたいです。

若園さん…私が期待する名古屋の未来は、地域が一丸となって、まさに「ONE TEAM」で防災に取り組むまちであること。そして、誰もが安心して暮らせる名古屋市であってほしいと思います。

都市像の実現に向けて



足元にある備え

名古屋市内には、地震などの災害による断水に備えて、200か所以上の応急給水施設があります。また、すべての市立小中学校などに「地下式給水栓」を設けていて、災害時に地域の皆さんが自ら操作することで飲料水を確保できます（操作に必要な器具は、学校の防災倉庫などに保管してあります）。いざという時のために、お近くの応急給水施設や地下式給水栓の場所を確認しておきましょう。



地下式給水栓（マンホールの蓋を開けると、中にじゃ口が設置されています。）



南山大学分団と中京大学分団を対象とした教養訓練



めざす都市像の実現に向けて取り組む施策

16. 災害に強い都市基盤の整備を進めます
17. 防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します
18. 市民の命を守る消防体制の充実強化をはかります
19. 犯罪や交通事故のない、安心・安全な地域づくりを進めます
20. 衛生的な環境を確保します
21. 安心・安全でおいしい水道水を安定供給します
22. 消費生活の安定・向上と、食の安全・安心を確保します



主な成果指標	直近の現状値	目標値 令和5年度	目標値 令和12年度
災害に強いまちづくりができていと思う市民の割合	51.8% (平成30年度)	55%	65%
119番通報受付から病院収容までの平均時間	31.3分 (平成30年)	30分以下 (令和5年)	30分以下 (令和12年)

快適な都市環境と自然が
調和したまち

自然と共生する未来へ
身近にある自然生態系を
市民の宝として守っていく

なごや生物多様性
保全活動協議会
会長

長谷川 泰洋さん

伝えていきたい
大切な命

——なごや生物多様性
保全活動協議会につ
いて教えてください。

なごや生物多様性
保全活動協議会は、名
古屋市に生息・生育す
る生物とその環境を継
続的に調査し、生物多様性の現状
把握や外来種の防除などを通し
て、身近な自然の保全を目的に平
成23(2011)年5月に設立さ
れた団体です。天白区にあるなご
や生物多様性センターを拠点に、
市民・専門家・行政などが協働で
活動に取り組んでいます。

名古屋市では、都市化の進展に
伴い、開発や外来生物の侵入など
によって生物多様性が損なわれて
きました。しかし、東部丘陵地のま
とまった緑地やため池、河川など
を中心に、現在もこの地域固有の
希少な生物を含む6000種近い
生物が生息・生育しています。こう
した現状を、「なごや市民生きもの
調査員(市民調査員)」の活動や「な



夏休みの小中学生を対象に協議会会員が講師
として行うなごや生物多様性サマースクール

「こや生きもの一斉調査」、「なごや生物多様性サマースクール」などを通じて、広く市民の皆さんへの周知につとめています。さまざまな生きものとのふれあえるサマースクールは、子どもたちに大人気なんですよ。

市内各所で生きものの調査を行っているのですが、希少な種の生息が確認できたり、新たな発見があった時、保全効果に一定の成果が見えてきた時はうれしいですね。多くの人に生きものに興味を持ってもらい、私たちの仲間になつてもらえるよう、生物多様性を魅力的にわかりやすく伝えることが重要と考えています。

自然環境とつながる喜びを

— 今後、力を入れて取り組んでいきたいことや目標は？

令和2(2020)年は、COP10で採択された生物多様性の世界目標である「愛知目標」の目標年であり、「未来へつなぐ『国連生物多様性の10年』せいかりレー」という全国的なイベントがあります。

この機会を大きな節目として、協議会では今、これまでの10年を振り返り、これからの10年の展望を描こうとしています。名古屋市が生物多様性の分野で世界をリードする都市であり続けてほしいですし、そのためには、より多くの市民や企業の関心が必要で、在来生態系を残し、それらとふれあえる機会を提供していくことで生物多様性について多くの市民の皆さんに関心を持っていただけるよう、協議会として取り組んでいきたいと考えています。

都市の自然環境はだんだん人工的なものになりつつあります。その一方で、市内には里山だけでなく、社寺林などに地域固有の生態系が多く残っています。名古屋が自然と共生した都市になっていくためにも、市民の皆さんがこうした生態系とふれあい、生物や自然環境とのつながりを喜べる感性や知識を育めるよう、身近な協議会をめざしていきたいです。



めざす都市像の実現に向けて取り組む施策

- 23. 大気や水質などが良好に保たれた快適な生活環境を確保します
- 24. 身近な自然や農にふれあう環境をつくります
- 25. 公共交通を中心とした楽しく快適なまちづくりを進めます
- 26. 良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します
- 27. 歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します
- 28. バリアフリーのまちづくりを進めます
- 29. 多様なニーズに対応した安心・ゆとりある住生活の実現・継承をはかります
- 30. 市民・事業者の環境に配慮した活動を促進します
- 31. 低炭素都市づくりを進めます
- 32. 3Rを通じた循環型都市づくりを進めます



主な成果指標	直近の現状値	目標値 令和5年度	目標値 令和12年度
公共交通が便利で利用しやすいと思う市民の割合	81.6% (平成30年度)	83%	85%
ごみ・資源の総排出量	88.8万トン (平成30年度)	88万トン	87万トン



名古屋に富士山!?

公園にある通称“富士山すべり台”という遊具をご存知でしょうか？約50年前に名古屋市職員が設計した名古屋発祥の遊具で、市内をはじめ東海地域に多く設置されています。色や形、大きさなど、それぞれに個性がありますが、末広がりフォルムや、公園のシンボルとなる存在感は、日本の名峰「富士山」のイメージが重なります。今度の休日、身近な公園で富士登山を楽しんでみてはいかがでしょうか？



1966年度に設置された第1号の「富士山滑り台」(吹上公園[名古屋市昭和区])

魅力と活力にあふれ、
世界から人や企業を
開かれたまち

気軽に人と文化が
つながる場を

——グローバル名古屋について教
えてください。

多文化共生の社会づくりをめざ
す事業として、英会話教室「旅人の
英会話」、宿泊施設「グローバル名
古屋バックパッカーズホテル」、
飲食店「グローバルカフェ」、「喫茶
モーニング」を運営しています。グ
ローバル(世界)とローカル(地元)
の接点を持つことで、名古屋という
地元で異文化交流ができる、人と
文化がつながる場づくりを目的と
しています。

例えば、バックパッカーズホス
テルの場合、単なる外国人向けの
宿泊施設ではなく、ホテル兼カ
フェ(1階がグローバルカフェ、2
階がホテル)のスタイルであるこ
とが特徴です。ホテルだけでは

ひきつける、

泊まる必要のない地元の人は来て
くれませんが、カフェであれば地
元の人も気軽に来ることができま
すよね。そこで、英語などが話せ
る私たちスタッフが間に入り、コ
ミュニケーションを後押しします。
「今日はこんなところへ行つてき
た」という旅行者に対して、「ここ
もオススメだよ」と地元の人が穴
場を教えてあげる。気軽に自然な
交流が生まれています。中には意
気投合して、帰国後も交流が続い
ていたり、日本への留学のきっかけ
になったりしているんですよ。

違いを尊重し、
多様な人が受け入れ
られるまちへ

——今後、力を入れて取り組んで
いきたいことや目標は？

最近、名古屋でも海外の文化と

名古屋の資源を活かして
グローバル(世界)と
ローカル(地元)をつなぐ

グローバル名古屋
代表
市野 将行さん



の接点を持つ機会が増えていると思います。身近なところでは、コンビニの店員さんがそうですね。市内でもたくさん外国人が働いていますが、まだまだ彼らとの交流や関わり合いが少ないと思います。私たちの取り組みも、もっとまちにアプローチしていきたいと考えています。異文化交流の面で、自分たちが主導的に人材育成したり、もっと気軽に交流できる場や仕組みをまちの中に広げたいです。

す。「喫茶モーニング」は、商店街というローカルかつ日常的な時間の中で、多様な価値観が交流する空間です。老若男女、日本人も外国人も、地元の人でも観光客も、どんな人でも目的に応じてくつろげる場所でありたいと考えています。

すべての事業を通じて大切にしているのは、人が持つ多様な価値観やバックグラウンドを尊重すること。常に心をオープンにして、一人ひとりと向き合うことを大切に考えています。名古屋全体で多文化共生の取り組みがもつと進んで、違いを尊重し、多様な人が受け入れられる国際都市になってほしいですね。私たちと関わる人だけでなく、名古屋に住む人、来る人、みんなにとって名古屋がもっと楽しく、愛着が持てるおもしろいまちであってほしいですね。



ホステル長期滞在者の旅立ちを祝ってお別れパーティーを開催

都市像の実現に向けて

column
サイン
匠の刻銘

名古屋城の天守台(天守閣の土台の石垣)には、隅角部を中心に、石垣を築いた加藤清正(現在の熊本県にあたる肥後国(ひごのくに)の大名)の家臣団が、それぞれの名を刻んで残っています。代表的なものとしては、大天守台の石垣の北東角(本丸を不明門から出ですぐ左側)、下から5石目の角石(すみいし)に「加藤肥後守 内小代下総」という文字が読み取れます。ぜひ探してみてください。



「加藤肥後守 内小代下総」と刻まれた角石

めざす都市像の実現に向けて取り組む施策

- 33.世界に誇れる都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます
- 34.国際的に開かれたまちづくりを進めます
- 35.港・水辺の魅力向上をはかります
- 36.魅力的な都市景観の形成を進めます
- 37.歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します
- 38.観光の振興・MICE(マイス)の推進と情報発信により交流を促進します
- 39.スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます
- 40.地域の産業を育成・支援します
- 41.新たな価値を創造する産業を振興するとともに、産業交流を促進します



主な成果指標	直近の現状値	目標値 令和5年度	目標値 令和12年度
観光客の満足度	78.2% (平成29年)	90% (令和5年)	90%以上 (令和12年)
屋間就業者1人当たり 市内総生産	9,087千円 (平成28年度)	9,700千円 (令和3年度)	11,000千円 (令和10年度)

市民サービスの推進

全国に誇れる 「みんなの港まち」へ

——港まちづくり協議会について
教えてください。

港まちづくり協議会は、名古屋港エリアをフィールドに、住民と行政の協働によるまちづくり活動を行っています。「なごやのみ(ん)なとまち」をコンセプトに、名古屋中、そして、全国に誇れる「みんなの港まち」をめざし、「暮らす、集う、創る」をテーマに、防災、子育て、コミュニティガーデン、まちの魅力やにぎわいづくり、アートプログラムなど、クリエイティブな視点を取り入れたさまざまな事業を展開しています。

日頃からまちを歩いて人に出会い、話を聞くこと、課題となつて
いる現場をよく見るのが大切
だと感じています。平成28(20

16)年からは、「み(ん)なとまちをつくるアーカイブプロジェクト」として、港まちに住む人々の個人的なエピソードを収集して展覧会も始めました。港まちの人々へのインタビューを通して、このまちの未来について考える企画です。まちを歩いて、見たり聞いたりしたことを文章で記録していくと目には見えないもう一つの風景が立ち上がってくるんです。港まちの歴史を物語る生活道具に出会えたり、戦時中の貴重なお話が聞けたり。伊勢湾台風の体験談から、防災対策について学んだり。ルーツや昔話がまちの未来を考えるための手がかりになる。人々のなつかしい記憶は、まちの未来の絵姿を示してくれているような気がします。

今のまちづくりの肝は、人と社会とその関係性の再構築だと考え

ています。人と人、人と社会がつながりを取り戻す。人と向き合い、付き合っていくことは、わずらわしいこともありませんが、あきらめてはいけません。かけがえのない豊かさは、その先にこそあると信じたいです。

大切なのは 実践への第一歩

——今後、力を入れて取り組んで
いきたいことや目標は？

人と社会の関係性が回復する
と、そこにどんな変化が生まれる
のか、一つひとつ体現していきたい
という願いが僕にはあります。ま
ちづくりと真剣に向き合っている
と、自分づくりにもつながっていく



るんです。逆に言えば、自分の人生に真摯に向き合う人が社会を変えていくキーパーソンだと思います。そんな人たちにこれからも多く出会っていききたいですね。僕は、そうした人々が集うハブになれたらと思います。

僕がまちづくりに出会ったのは
大学院生の時でした。愛知万博を
契機に再生をめざす地域を大学で
応援するプロジェクトがきっかけ
です。何一つできない未熟な若者



港まちづくり協議会の中長期ビジョンである「み(ん)なとまちVISION BOOK」の改訂ワークショップの風景

現代のまちづくりは 人と社会とその関係性を 再構築すること



港まちづくり協議会
事務局次長
古橋 敬一さん

都市像の実現に向けて

column

歴史を知る者

現在の名古屋市役所(本庁舎)は、昭和8(1933)年に完成した建物で、平成26(2014)年に国の重要文化財に指定されました。中に入ると、緑色の穏やかな光が灯る中央階段の照明器具や、落ち着いた色調でまとめられた中央廊下壁面の陶製タイル、表面が波打つ窓ガラスなど、完成当時の雰囲気の色濃く残っています。また、玄関ホールや中央階段には、国会議事堂と同じ大理石が使用されていて、よく見ると化石が埋まっています。



名古屋市役所本庁舎

を、地域は丸ごと受け入れてくれました。そうすると不思議と力が湧いてくる。誰にだって役割があるんです。若い頃の濃密なまちづくり体験が僕の人生を支えてくれています。本当は、人は誰しも自分の関わるまちを見つけないければならないのかもしれませんが、まちづくりって本当におもしろい。その感覚は今も変わりません。自分の人生を大切にしたいと思うなら、それを支えてくれる人や社会について考えたり行動することは、とても自然なことのように感じています。これからもみんなと一緒に、まちづくりに取り組んでいきたいですね。

市民サービスの推進に向けて取り組む施策

- 42.市民サービスの向上を進めます
- 43.市民への情報発信・情報公開と、個人情報保護を進めます
- 44.地域主体のまちづくりを進めます
- 45.公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます



主な成果指標	直近の現状値	目標値 令和5年度	目標値 令和12年度
区役所・支所窓口における対応に満足している市民の割合	97.1% (平成30年度)	100%	100%
地域の住民によるまちづくりが活発に行われていると思う市民の割合	30.3% (平成30年度)	40%	60%

飛躍するチャンス!!

重要な柱となる2つのプロジェクトを紹介します。

第20回アジア競技大会の開催

2026年

9月19日(土)

10月4日(日)

観客
約**150**万人

選手・大会関係者
約**1.5**万人

令和8(2026)年に、愛知県及び名古屋市において、第20回アジア競技大会の開催が予定されています。「アジア版オリンピック」ともいわれるアジア最大のスポーツの祭典で、日本での開催は実に32年ぶりとなります。大会期間中には、選手や監督・コーチなど大会関係者約1.5万人、観客約150万人の来訪が見込まれることから、名古屋の魅力を世界に発信する千載一遇の機会として活かし、一過性のスポーツイベントに終わらせるのではなく、その開催効果をスポーツの振興や交流人口の拡大、国際交流の促進、共生社会の実現、国際競争力の強化など、さまざまな分野につなげていきます。



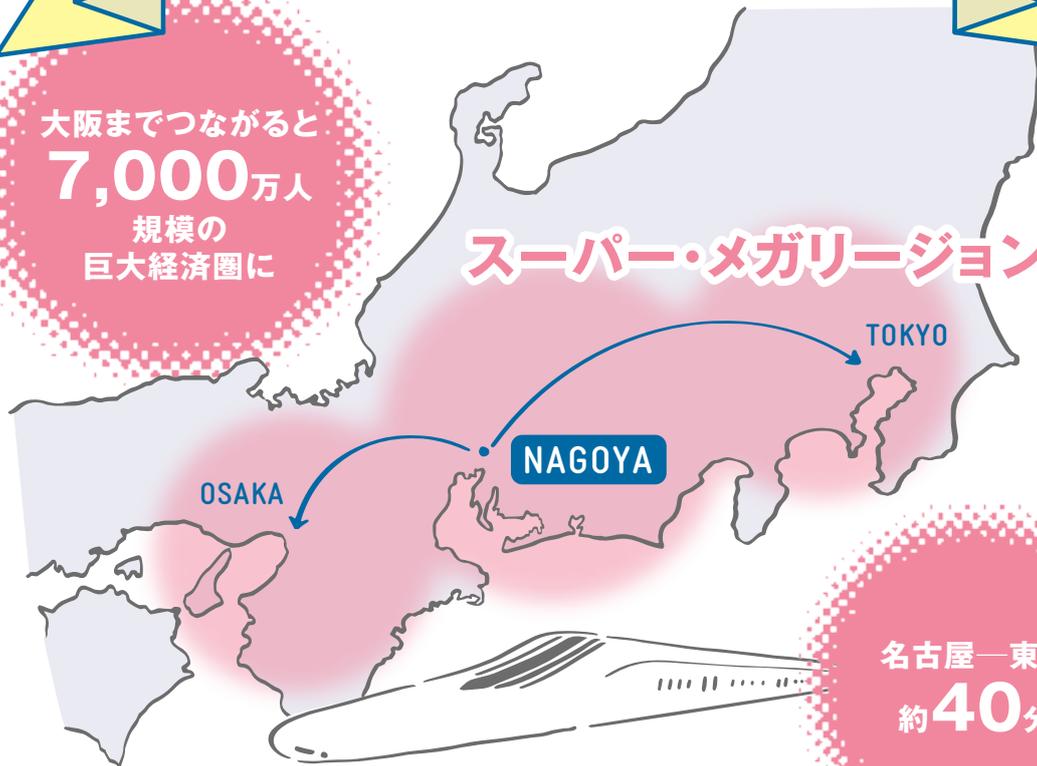
名古屋のまちが

これからの名古屋のまちづくりを進める上で

リニア中央新幹線の開業

大阪までつながると
7,000万人
規模の
巨大経済圏に

スーパー・メガリージョン



名古屋—東京
約**40**分

令和9(2027)年に、リニア中央新幹線(品川—名古屋間)の開業が予定されています。日本独自の技術である超電導リニアによって、名古屋と東京が約40分につながり、首都圏との交流がより活発になると見込まれています。さらに、全線開業後には、東京・名古屋・大阪が約1時間で結ばれ、7,000万人規模の世界最大の人口を有する巨大経済圏「スーパー・メガリージョン」が誕生します。名古屋市はその中心都市として、強い経済力や地理的優位性などの強みを最大限に活かすとともに、名古屋駅のスーパーターミナル化をはじめ、ソフト・ハード双方の投資を積極的に行い、魅力的で世界から人をひきつける国際都市の実現をめざします。



私たちの暮らしや未来と 世界の問題はつながっている

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エスディーゼーズ 持続可能な開発目標 (SDGs) とは



持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて掲載された世界共通の目標で、健康や教育、経済成長、気候変動に関するものなど、幅広い17の目標と169のターゲットが設定されており、令和12(2030)年までの達成をめざすものです。

名古屋市はSDGs未来都市として、 持続可能な未来を切りひらきます！

名古屋市は、令和元(2019)年7月にSDGsの達成に向けた優れた取り組みを提案する都市である「SDGs未来都市」に国から選定されました。

総合計画の推進を通じて、市民・企業・NPOなど多様な主体と連携し、SDGsの達成に率先して取り組み、「誰一人取り残さない」経済・社会・環境が調和した持続可能なまちづくりを進めます。

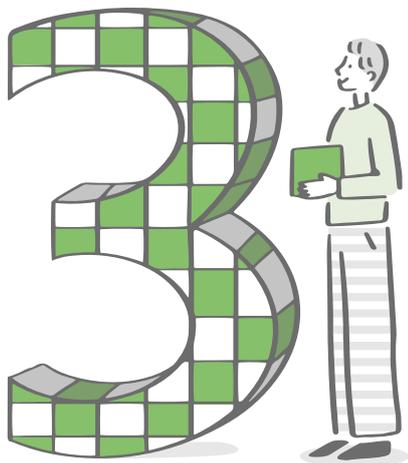


SDGs未来都市選定証授与式
(中央が名古屋市堀場副市長。愛知県、豊橋市とともに撮影)

重点戦略

めざす都市像の実現に向けて、
優先的に取り組む4つの戦略を
「重点戦略」としてまとめました。

各戦略の推進に日々奮闘し、
活躍する市職員の取り組みを紹介します。





子どもや親を総合的に支援し、
未来を担う人材を育てます



チームで取り組む
きめ細やかな支援

—— なごや子ども応援委員会につ
いて教えてください。

川岸さん：平成26（2014）年に
スタートした「なごや子ども応援
委員会」は、スクールカウンセラー、
スクールソーシャルワーカー、ス
クールアドバイザー、スクールポリ
ス等で構成されています。多職種
を配置し活動の拠点となる中学校
11校のほか、全中学校に常勤のス
クールカウンセラーを配置し、専
門的な知識や経験を持つスタッフ
が連携・協力しながら、さまざま
な悩みや心配を抱える子どもや保
護者への支援体制を整えています。
阪口さん：常勤の専門職を学校に
配置することで、子どもたちと普



段から関わりながら、問題の未然
防止や早期発見、個別支援にあ
たっています。

朝位さん：複数の職種が持つそれ
ぞれの専門性を活かしながらチー
ムで活動するというのが、子ども
応援委員会の大きな特徴であり、
メリットでもあります。子どもた
ちや保護者にとって、最善の環境
づくりを先生方と一緒に考え、取
り組んでいます。

川岸さん：朝の登校時、校門に
立つて子どもたちの表情を観察す
ることから一日が始まります。何
気ない朝の挨拶ですが、子どもた

ちの表情や様子から、悩みや心配
を抱える子どもをいち早く見つけ
る大切な時間です。

朝位さん：見つかった課題や対応す
るべき事案については、チーム会議
で情報共有や検討を行っています。

阪口さん：相談室などでの子ども
や保護者との個別面談だけでなく、
家庭訪問も行っています。スクール
カウンセラー一人では対応が難しい
こともありますし、一人でできるこ
とには限界がありますので、チー
ムで活動することにより取り組み



1

未来を担う人材が育つ！
「子ども・若者応援戦略」

- ① 子ども・親総合支援の推進
- ② 子どもの健やかな育ちの支援
- ③ 幅広い学力の育成、体力向上の推進
- ④ グローバル人材・ものづくり人材・ICT人材の育成に向けた教育の充実
- ⑤ 学びを支える教育環境の充実
- ⑥ 若者が学び活躍できる環境づくり

2

安心して子育てできる！
「子育て応援戦略」

- ① 妊娠前から子育てにわたる切れ目のない支援
- ② 働きながら子育てしやすい環境づくり
- ③ 社会全体で子育てを支援する環境づくり



子どもたちが主体的に 人生の針路を探す 応援をしています



なごや
子ども応援委員会

(左) スクールカウンセラー
阪口 裕樹さん

(中央) スクールカウンセラー
川岸 晃子さん

(右) スクールソーシャルワーカー
朝位 啓さん

の網の目が小さくなり、きめ細やかな支援に結びつきます。

夢と希望にあふれる 未来へ向けて

—— 今後、力を入れて取り組んで
いきたいことや目標は？

川岸さん：保護者の方から子どもたちが卒業後も元気であるよとお話をいただいたり、先生方に私たちの考えや思いが通じて、連携して充実した支援ができたりした時は、うれしいですね。大きなやりがいを感じます。子ども応援委員会という全国で他に類を見ない制度の中で、もっと活躍できる自分でありたいですし、名古屋の子どもたちが毎日を幸せだと感じ、「明日が来るのが楽しみ」と、そう思えるような人生を歩んでほしいです。

阪口さん：毎日子どもたちと関わっている中で、「何かあれば、この人たちに話してみればいいんだ」と理解が進んできている様子にやりがいを感じるとともに、相談しやすい環境づくりの大切さを感じています。緊急事案であっても、常勤で

あるからこそ即時対応できますし、初動から学校とともに支援にあたることができます。今後、小学校から中学校へ、中学校から高校へと、環境が変わる度に支援が途切れることなく、子どもたち一人ひとりに必要な支援がリレーのようにつながる名古屋市にしていきたいです。

朝位さん：私たちの仕事は、舗装されていないところに、子どもたちが自分の力で自分の道を拓くことをお手伝いするようなものです。黒衣くろいのような存在です。それでも、まちで卒業生から声をかけられたり、「元気でいる姿を見たりすると、私たちも勇気づけられます。子どもたちが将来やりたい仕事に、「学校の先生」だけじゃなく、「子ども応援委員会の人」が加わるように、取り組んでいきたいですね。

重点戦略



2

地域福祉の身近な窓口

——保健福祉センターのお仕事について教えてください。

森さん：熱田区保健福祉センターで、子どもや高齢者、障害のある方への支援や健康づくりの推進などに取り組んでいます。区民の皆さんの身近な窓口として、気軽にご利用、ご相談いただけるようつとめています。

大橋さん：私は、南区保健福祉センターで、主に地域包括ケアシステムの推進に携わっています。住民と行政、関係機関が集まって地域課題の解決に向けた支援や対策に取り組んでいます。

森さん：熱田区では、ロコモティブシンドロームの予防に力を入れています。「あつたロコモ予防大使

みんなにやさしい福祉を実現し、
元気に活躍できる
まちづくりを進めます



(養成講座を受講した区民)の皆さんと区の保健師が協力して「なごや健康体操熱田区オリジナルバージョン」の普及・啓発活動を推進するなど、区民による区民のための健康づくりをめざしています。

大橋さん：南区は、高齢化率が市内で最も高いということもあり、介護予防の取り組みとして、「レッツ☆スマイル隊」という区民グループとの協働や、「いきいき百歳体操」の拠点づくりなど、地域の皆さん



と一緒に運動習慣づくりを進めています。また、ご高齢の方などから困りごとの相談があった場合に、必要な機関につなぐためのネットワークの構築もめざしています。

森さん：悩みや困りごとは、人それぞれに違います。複雑な問題を抱え地域で困っている方を、医療機関や民生・児童委員などの地域の役員さん、他職種と連携して適切な支援につなげていく過程では、苦労もありますが、笑顔や感謝の



1

長寿社会を安心に！
「健康・安心戦略」

- ① 健康づくり・予防医療の推進、先進的な研究の推進
- ② 救急医療体制の充実
- ③ 認知症施策の充実など地域包括ケアシステムの深化・推進

2

誰もが活躍！
「ダイバーシティ推進戦略」

- ① 人権が尊重され、多様性を認め合う社会の実現
- ② 多様な人材の活躍推進
- ③ 障害者の地域生活支援
- ④ バリアフリーのまちづくり

3

みんなでつくる！
「地域コミュニティ活性化戦略」

- ① 活躍できる場の形成と参加に向けた地域活動の促進
- ② 地域の多様な担い手の育成・支援

言葉に大きなやりがいを感じます。
大橋さん「自分たちの地域をこ
うしたい、変えていきたい」と前
向きに考えていらつしやる方に出
会うと、とてもうれしいですし、
やりがいにつながります。地域の
課題を自分ごととして捉え、自分
にできることは何かを考え、地域
のために貢献しようとする姿に刺
激をいただいています。

すべての市民が健康に 活躍できるまちへ

—— 今後、力を入れて取り組んで
いきたいことや目標は？



名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほ
うを会場に活動する「あつた口コモ予防
大使」の皆さん

森さん「名古屋市では、「ワンコイ
ンがん検診」や予防接種の費用助
成など、先進的な取り組みを進め
ています。これからも、誰もがよ
り長く健康を保ちながら活躍でき
るまちであつてほしいですね。地
域や大学、企業などと連携して、
日頃から市民が気軽に参加できる
活動がある。そこで人とのつなが
りが生まれ、困った時には相談で
きるような環境を整えていきたい
です。

大橋さん「困っている人を放つて
おかない地域づくりが大切だと思
います。誰にでもSOSを発信で
き、手を取り合えるような地域に
していきたいですね。地域包括ケ
アの現場では、複合的な課題を抱
えながら、相談に至らず、制度の
狭間で苦しんでいる人がいます。
今、名古屋市では、そのような人
たちが相談しやすい体制づくりを
進めています。縦割りではなく、
横への広がりや課題解決への道筋
が立てられるような仕組みがで
きたらいいと思います。

日頃からのつながりで 誰にでも相談できる 地域づくりを

(右) 熱田区
保健福祉センター 所長
[保健師]

森 登志恵さん

(左) 南区保健福祉センター
福祉部福祉課 主査
[保健師]

大橋 加奈さん

3

災害から命と産業を守り、
安心・安全な暮らしを確保します



いのちを守る使命感

——救急救命士のお仕事を教えてください。

私は救急救命士として、日々、人命救助の最前線で任務に就いています。具体的には、119番通報を受け付けた名古屋市防災指令センターからの出動命令のもと、救急車で現場に向かい、ケガや病気の人をいち早く病院にお連れします。現場では、症状や経過を把握して病院に伝えたり、場合によっては、状態の悪化を防ぐために、医師の指示のもと、点滴などの処置を行います。

市内の年間救急出動件数は、約13万4千件（平成30年中）で、9年連続して過去最多を更新しています。これは、約4分に1回のペース



で出動していることになりました。

市民の皆さんの健康や命を守ることに直接関わる仕事ですので、勤務時間中は気を抜くことが許されませんが、その分、一件一件の出動に大きな使命感を感じています。「救急隊の到着を待つ時間がとても長く感じた」とおっしゃる方も少なくありません。「不安で胸が押しつぶされそうな人が待っている」そんな思いを持って、迅速な出動やいち

早い現場到着につとめています。最近では、地域の方による胸骨圧迫（心臓マッサージ）で一命を取り留められた例がありました。私たちの到着前に現場でそのような処置が施されたという、「救命の連鎖」によって命が守られた事案として、とても印象に残っています。

安心・安全を
実感できるまちへ

——今後、力を入れて取り組んでいきたいことや目標は？

名古屋市における119番通報受付から病院収容までの平均所要時間は、31・3分（平成30年中）と、同規模以上の都市の中ではとても短いです。これは、各医療機関の救急業務に対する理解や協力



1 備えを万全に！
「地域防災戦略」

- ① 防災啓発活動の推進
- ② 地域特性に応じた防災対策の推進

2 災害に強く！
「災害対応力向上戦略」

- ① 消防・救助体制の充実、防災拠点等の機能強化
- ② 情報収集伝達手段の多様化・充実
- ③ 指定避難所の機能強化
- ④ 耐震対策・浸水対策など都市防災機能の強化
- ⑤ 帰宅困難者対策の推進

3 安心して暮らせる！
「暮らしの安心・安全戦略」

- ① 救急救命体制の充実
- ② 安心・安全な地域づくり

市民の信頼に応え
安心・安全を実感できる
まちづくりを
支えていきたい

消防局救急部
救急課指導係

坂部 瞬さん

重点戦略

があつてのことだと感じていま
す。今後も、日々の訓練と工夫に
よつて、絶えず時間短縮をめざし
ていくことはもちろんですが、救
急出動件数はさらなる増加が見
込まれており、消防局を挙げて対
応していく体制が必要となりま
す。私は、これまで6年間、救急救
命士として気管内挿管や点滴、薬
剤投与といった専門的な処置を学
びながら、救急救命に専従してき
ました。今後は、これまでに得た
知識・技術を広く他の消防士と共
有したり、後進の育成にも力を注
ぐなど、実務面での人材育成に取
り組んでいきたいと考えています。

一方で、現場で働く私たち全員
が取り組むべき課題として、地域
防災活動の支援があげられます。
南海トラフ巨大地震発生時の本市



の被害想定では、家具転倒防止対
策などを実施することで、負傷者
数が半分程度にまで減少すると推
計しています。いざという時への
備えと減災につながるよう、各家
庭や自主防災組織へのはたらきか
けをはじめ、市民の皆さんが将来
にわたつて安心・安全を実感し続
けられるまちづくりを支えていく
ことが、私たちの重要な任務であ
ると考えています。

救急隊と救助隊が連携した
救出訓練

4

強い経済力を基盤に、にぎわいと
新たな価値を創出し、環境と調和した
都市機能を強化します



イノベーションを
名古屋に吹き込む

——お仕事の内容を教えてください。

かつては、日本の企業が世界の時価総額ランキングの上位を独占していました。近年では、Google や Amazon、Facebook、Apple をはじめとする海外の企業が上位を独占しており、日本の存在感が薄くなっています。このような背景の中で、名古屋市では、イノベーションの起爆剤となるスタートアップ企業の創出や環境整備に力を入れており、私は、そうした施策の立案や施設の運営、プログラムの企画などを担当しています。

平成29（2017）年には、情報技術を使ったアイデアを若手エ

ンジニアらが競う「NAGOYA HACKATHON（ナゴヤハッカソン）」を開催したほか、平成30（2018）年からは、イノベーター育成・ビジネス創出プログラム「NAGOYA BOOST 10000（ナゴヤブーストテンサウザンド）」を、さらに、令和元（2019）年には、既存企業とスタートアップ企業の交流・対流の拠点となる「NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE（ナゴヤイノベーターズガレッジ）」のオープンに携わってきました。ハッカソンなどの事業は、企業をただ集めるだけではなく、新規事業の開発に至るような丁寧なサポートにつとめています。企業同士をつなげて、そこから新しいビジネスや企画が生まれるとうれしいですし、企業のニーズを



集め、施策を立案し、実施まで関わることによりがいを感じます。

強みを活かして
挑戦するまち

——名古屋の強みは？

市内の大学や、ものづくりを中心とした企業に優秀な人材が多くいることが名古屋の強みだと思います。大学生の中には、事業のプログラムで学んだことを活かして就

1

来たれアジア！リニア！
「都市機能強化戦略」

- ① リニア中央新幹線開業に向けた都心の魅力づくり
- ② 第20回アジア競技大会を契機とした基盤整備
- ③ 最先端モビリティ都市の実現に向けた取り組みの推進
- ④ 公共交通の快適性・利便性の向上
- ⑤ 広域交通ネットワークの強化



2

持続可能な未来へ！
「環境都市推進戦略」

- ① 低炭素なライフスタイル・ビジネススタイルへの転換
- ② 緑に親しめる環境づくり、水循環機能の回復、生物多様性の保全
- ③ 社会経済情勢の変化に対応した3Rの推進
- ④ 環境と経済・社会をつなぐ統合的取り組みの推進

世界を見据え
グローバルに展開できるよう
企業同士の相乗効果を
高めていきたい

市民経済局産業部
産業労働課 主査

稲垣 尚起さん

職先を選んでいる人もいます。また、スタートアップ企業の中には、AI、ロボット、宇宙、ヘルスケアなどの幅広い分野で、将来有望な企業が輩出されつつあります。

—— 今後、力を入れて取り組んでいきたいことや目標は？

イノベーションの創出には担い手となる挑戦者を多く輩出することが必要です。起業家や、企業内で新規事業に取り組める人材を育成するアントレプレナー教育(起業家人材の育成)を積極的に行うべきだと思います。

また、同時に「失敗を奨励し、挑戦する文化」の醸成が必要不可欠です。積極的に若手を登用したり、たとえ失敗してもそこから学びを得た人を評価するような土壌づくりが必要だと思います。イノベーションが次々と生まれ、先進的なテクノロジーの活用により、これまで以上に市民の方が豊かに生活できる都市となるために、行政としてできること、やるべきことに精一杯取り組んでいきたいと思っています。

重点戦略

3

交流を促進し
新たな価値を創出！
「イノベーション戦略」

- ① イノベーション創出・創業等支援
- ② 価値づくり産業・成長産業の振興、戦略的企業誘致
- ③ 産業交流の促進、MICE(マイス)の推進
- ④ 地域商業の活性化
- ⑤ 産業人材の育成・確保

4

魅力資源の磨き上げ！
「魅力向上・発信戦略」

- ① 名古屋城を核とした魅力軸の創出・発信
- ② 文化・歴史資源、観光資源など名古屋が有する魅力の向上・発信
- ③ 国際交流の推進、受入環境の整備、海外からの誘客促進
- ④ スポーツ、ポップカルチャーを活かした魅力の創出・発信
- ⑤ シビックプライドの醸成



新たなビジネスチャンス創出のためのピッチイベント「NAGOYA BOOST DAY」

私の好きな名古屋

じっくり、よく探してみると
いつもと違う魅力に
気づくかもしれません。

病院などの医療機関が
たくさんあって
安心して生活できます。
敬老パスはありがたいです。

地域に誇りを持っている人が
多いところ。
地域のために活動している
市民の皆さんが大好きです！

神社や鎮守の森には
個性豊かな生物がいて
とてもおもしろいですよ。
みんなで守っていきましょう！



和菓子は断然日本一！
味も見た目も
クオリティが高い。
自信を持って言えます！

名古屋の人は、心の内に
まちに対する深い愛情を
秘めていると思います。
それを愛おしく感じます。

名古屋で屈指の眺望を誇る
滝の水公園からの景色。
名古屋のまち並みや自然を
見るとリフレッシュできます。

知れば知るほど奥深い
喫茶文化ですね。
喫茶店には、人と人をつなぐ
不思議な力があります。

用語解説

IoT

Internet of Thingsの略。モノのインターネット。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在するさまざまな物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信したりすることにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

イノベーション

従来の考え方にとられない自由な発想で、新たな価値を生み出し、人々の生活に劇的な変化をもたらすこと。

AI

Artificial Intelligenceの略。人工知能。言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術。

救急医療体制

(第一次体制)風邪や急な発熱といった軽症患者に対応(第二次体制)入院や緊急手術が必要な重症患者に対応(第三次体制)高度な治療を要する重篤患者に対応。

3R

「Reduce=リデュース(発生抑

なごやめしなど
独自の文化があるところ。
これが名古屋の
アイデンティティ！

都市でありながら
公園、緑が多いため、
四季を感じられるところが
大好きです！

便利さと住みやすさ
バランスが良いですね！
東山動物園・科学館・
名フィルは子どもの時から
お気に入りです！

世界をめざすにあたって
申し分ない**都市のスペック**が
備わっていると！



魅力的で素敵な人が
たくさんいるところ。
それから、おいしいご飯と
お酒も！
あれこれ迷っちゃいますね。

田舎過ぎず、都会過ぎない
ところ。
名古屋城あたりの風景が
大好きです！

名古屋ことば(名古屋弁)の
イントネーションが
大好きです。
どこに行っても染まらず
大切にしたいですね。

名古屋駅の高層ビル群は
圧巻です！
摩天楼を見上げると
名古屋の力強さを感じます。

私の好きな名古屋

制)「Reuse=リユース(再使用)」「Recycle=リサイクル(再生利用)」の3つの頭文字をとった言葉で、ごみ減量のために必要な取り組みを表す。

▼スーパー・メガリージョン

東京、名古屋、大阪はメガリージョンと呼ばれる大都市圏を形成しているが、スーパー・メガリージョンは、その三大都市圏がそれぞれの特色を発揮しつつ、リニア中央新幹線全線開業により一体化し形成される世界最大の人口を有する巨大経済圏のこと。

▼名古屋大都市圏

名古屋市を中心におおむね30〜50kmの範囲で、産業、観光、防災など分野ごとに柔軟に捉えたエリア。

▼MICE(マイス)

企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

▼ロコモティブシンドローム

骨や関節、筋肉などの運動器の衰えが原因で、「立つ」「歩く」といった移動の機能が低下している状態のこと。



名古屋市総合計画2023 ガイドブック

令和2(2020)年4月

編集・発行：名古屋市総務局企画部企画課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話 052-972-2203 FAX 052-972-4418

